

福岡県社保協

Fax Mail ニュース

2020.1.22 №.71

福岡県社会保障推進協議会

電話 092-483-0431

FAX 092-483-0435

E-mail syaho@f-kenren.or.jp

福岡県社会保障推進協議会・福岡県医療労働組合連合会 主催 公立・公的病院を守る医療・福祉従事者 決起集会開催！

参加者 89 名 マスコミ 5 社 （朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・西日本新聞・赤旗新聞）

1 月 18 日土曜日、福岡県社会保障推進協議会（以下：県社保協）と福岡県医療労働組合連合会（以下：医労連）主催で、公的病院 424 病院の再編・統合についての政府・厚労省が突然発表した問題について、白紙撤回を求め「公立・公的病院を守る医療・福祉従事者決起集会」を開催しました。

集会の冒頭、主催者を代表して県社保協の山下副会長が挨拶を行い、一連の病院統廃合について、医療を受ける立場と前置きした上で、「安倍・自公政権の狙いは、公

的病院から民間病院も含め、日本の公的医療制度（国民皆保険制度）を、グローバル資本のさらなる収奪のための施策にしようとしているのではないかと、公的病院と民間病院との再編を進めるべきといっているのではないかと、現在の政府は、沖縄問題を見ても明らかな通り、主権者の為ではないと言える、今後も皆様とあきらめずに、問題について学びながらたたかう決意」と述べました。その後、各界からの発言があり、最後に集会アピールを確認し、団結がんばろうで締めくくりました。



各病院・団体から

日本医労連 森田 しのぶ 中央執行委員長（発言主旨）

今回、厚労省の発表後、中央では団結してたたかうためにも、各界あつまり、10 月下旬には共同声明を発表し、記者会見を行いました。その後、厚労省に対して、白紙撤回と、地域医療を守るよう要望を提出、交渉を行いました。厚労省は、今回の発表について、「全国回って説明してい



る、広報の仕方については至らなかったことは認める」とのことですが、一方で撤回はしないとのこと、あくまでも、「地域医療構想が進まないことで、地域調整会議での議論の材料として出した」と説明、地域の実情を加味してないのは、地域で議論してほしいからというばかり、2017年のデータを採用し理由については、「直近のデータがそれだった」と、新築や再編が終了した病院も名簿にあるなどずさんなデータなことに関しても、撤回はせず平行線の議論となった。地域医療の拡充については、「維持するためにも役割分担が必要だから地域で議論をすすめてほしい」と言わんばかりの答弁がなされました。全国知事会・市町村会からも、問題を指摘する、意見書がだされているなかで今後のたたかいが重要になります。共にがんばりましょう。

飯塚市立病院 看護師 （発言主旨）

当病院は、平成13年に労災病院から、閣議決定により再編統合すすめられた経緯もあり、今回名指しされたのは2度目です。前回地域で「筑豊労災病院を守る会」ができ、数万の署名があつまりました。現在は、地域医療振興協会が主体で、飯塚市立病院として存続しています。昨年来、急性期病棟を5から3へ変更し、回復期1増、地域包括ケア病棟も1増に変更したので、再編は終わっていると思っていました。その他、飯塚市では4病院の名前があがりましたが、嘉麻赤十字病院も地域で必要な病院として存続しており、嘉麻市も同様の認識です。また、済生会病院も緩和ケアで患者を受け入れる等、がんばっており、腎臓センターは、遠方からヘリコプターもくる専門的な病院です。最後に、病院の存続を決めるのは、政府ではありません、地域の方々であり、患者様であり、働いている私たちです、管理者も「なくなることはない」と言っていますが、これからも、統廃合させない取り組みに奮闘していきたい。

障害者の生活と権利を守る福岡県協議会 石松 周 会長 （発言主旨）

「今回、突然の再編成に驚いている さらに、私たち障害者が、かかっている医療機関の名前が出ていることに、一体どういうことかという気持ちです。私事ですが、このような場を頂いて感謝しております。私は、障害区分6、要介護5であり、すべてに介助を必要とします、生きるためにリハビリがかかせませんし、服薬も続ける必要があります。また、老齢になっても、それは変わりません。日常生活を送っていく上で、特に障害のことを熟知している医療機関、医師、関係者は不可欠であり、長いスパンで医師と関係者、障害者当事者が障害の特性を維持し、専門的見地から治療をしていただくことで、円滑な日常生活送れています。今回の厚労省の対応について、私たち障害者とその家族にとってはとても不安です、厚労省は、障害者の置かれている現状を直視して、撤回を表明してほしい。

最後に

当日会場では、各団体からの発言、来賓には、国会議員からのメッセージも頂戴いたしました。立憲民主党福岡県連合衆議院議員山内、参議院議員古賀之人 参議院議員野田国義、国民民主党福岡県総支部連合会代表、衆議院議員城井崇、日本共産党衆議院議員、田村貴昭 氏らから激励のメッセージをいただきました。当日、野田議員の事務所より秘書の方が応援に駆けつけていただきました。